

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	1.教育研究活動費		
項	1.教育総務費	細事業名	4.学校図書館活性化		
目	3.教育研究指導費	担当課・係	指導課	(執行課: 指導課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	9,113	要 求									9,113
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/学校で楽しく安心して学べるまちづくり/学校図書館の利用を増加させ							
	【学校図書館の充実に関する業務】	施策体系コード	03-02-01-40-10			事業番号	221-1			
	蔵書の整備、管理、貸し出し状況について把握し、効果的な図書館	総事業費	46,017千円				事業期間	平成18年度～平成22年度		
	利用について研究し、図書館利用の促進や、調べ学習・朝の読書の	年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
	サポートを行う。		7,450	8,327	10,080	10,080	10,080			
		(事業実施に関する根拠法令)								

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 各学校へ学校図書館司書を派遣し、学校図書館運営の活性化を図る。	(事業の目的) 児童・生徒の読書離れが著しいなか学校図書館司書を配置することで読書離れをくい止め、読書の楽しさや調べ学習の方法を知ることにより、生涯にわたって学習する力を身につけることを目的とする。	(事業の効果) 学校図書館司書を配置することで、図書の貸出冊数が増加し、読書離れがくい止められている。また、図書館の図書の整理・整備をはじめ、図書館の環境も充実し、授業等での図書館の利用頻度が高まった。
(事業実施上の問題点) 佐倉市内小中学校33校中まだ9校の配置で多くの学校図書館は整備が行き届いてない状態である。先進の9校に習い学校の教師も整備を行いたいところであるが、校務が多忙で思うようにならない状況であり、学校図書館司書の配置を熱望する学校が多い。11中学校区の中中学校に配置したい。	(前年度からの見直し点) 現在、9名の学校図書館司書を配置しており、各学校年間40日間の予定で対応している。運用上、各中学校区への配置要望があり、小中学校の連携が促進できる効果がある。	(見積についての特記事項)